

# 下水道事業特別会計

留萌市都市環境部上下水道課管理係  
TEL 0164-42-2049

## 総括

下水道は「汚水の排除」「浸水の防除」「河川・海域の水質保全」の3つの役割を持ち、市民一人ひとり、そして次の世代の市民が快適な生活と良好な環境で過ごすための重要な都市施設（財産）です。令和3年度の下水道事業特別会計の決算状況は、歳入1,613,238,501円に対して歳出1,613,238,501円であり、収入支出差引及び単年度収支については収支均衡のためプラスマイナス0円となりました。歳入においては、建設工事に伴う補助金及び市債の減により前年度より減少しました。歳出においては、雨水管渠布設工事等による下水道建設費の減により、減少となりました。建設事業の概要は、施設では浄化センターの老朽化した機械・電気設備の更新工事を実施しました。管渠では未普及地区解消として東部・潮静地区の污水管・雨水管布設工事等を実施しました。

処理区域内人口は17,136人で水洗化人口は14,923人、水洗化率は87.1%、普及率は87.9%となっており、下水道使用水量は1,498,576m<sup>3</sup>となっております。

## 歳入

### ■前年との比較

#### ①受益者負担金

前年度と比べ受益者の増加による増。

#### ②下水道使用料等

水洗化人口は減少しているが、使用料は昨年並みを維持。

#### ③⑤国庫支出金・市債

補助事業の減少に伴う減。

#### ④繰入金

投資事業の支出の減等に伴う基準内繰入の減少による減。

#### ⑥その他

下水道管移設補償金の増加による増。

(単位:千円、%)

予算科目	令和3年度			令和2年度		令和2年度決算との比較	
	予算額	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	C (A-B)	C/B
①受益者負担金	16,039	16,039	1.0	8,028	0.5	8,011	99.8
②下水道使用料等	357,131	363,044	22.5	354,879	21.6	8,165	2.3
③国庫支出金	294,800	293,004	18.2	317,793	19.3	△ 24,789	△ 7.8
④繰入金	393,847	380,019	23.5	390,384	23.7	△ 10,365	△ 2.7
⑤市債	521,100	518,100	32.1	563,900	34.3	△ 45,800	△ 8.1
⑥その他	42,461	43,033	2.7	9,130	0.6	33,903	371.3
合 計	1,625,378	1,613,239	100.0	1,644,114	100.0	△ 30,875	△ 1.9

※繰越事業費繰越財源充当額除く

## 歳出

### ■前年との比較

#### ①下水道管理費

浄化センター耐震診断事業費の減少による減。

#### ②下水道建設費

浄化センターの更新工事、污水管、雨水管の布設等補助事業の減少による減。

#### ③④公債費

元金－元金償還終了と元金償還開始の差額による減。

利子－未償還残高の減及び利率低下による減。

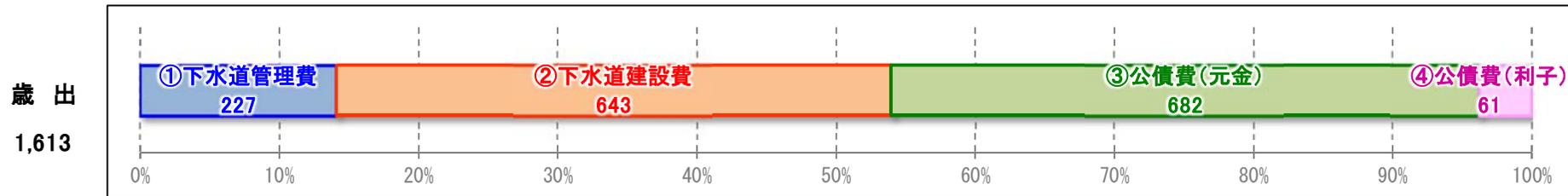
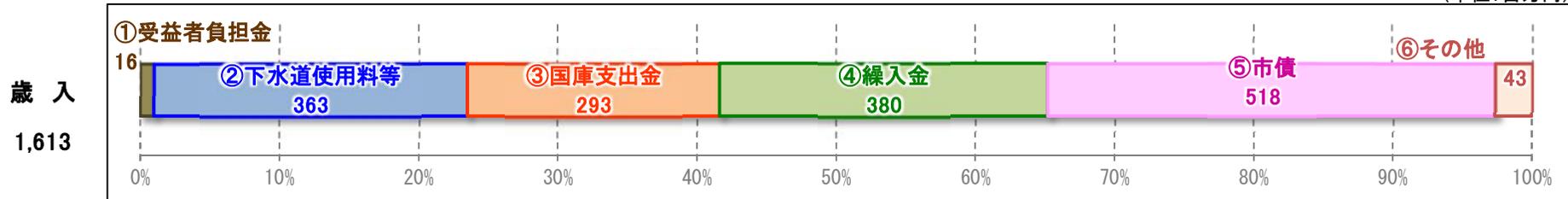
(単位:千円、%)

予算科目	令和3年度			令和2年度		令和2年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	決算額B	構成比	C(A-B)	C/B
①下水道管理費	233,572	227,240	14.1	246,569	15.2	△ 19,329	△ 7.8
②下水道建設費	649,491	643,462	39.9	627,858	38.5	15,604	2.5
③公債費(元金)	682,000	682,000	42.3	684,719	42.0	△ 2,719	△ 0.4
④公債費(利子)	60,636	60,537	3.7	70,468	4.3	△ 9,931	△ 14.1
⑤その他	2,243	0	0.0	0	0.0	—	—
合 計	1,627,942	1,613,239	100.0	1,629,614	100.0	△ 16,375	△ 1.0

※繰越事業費除く

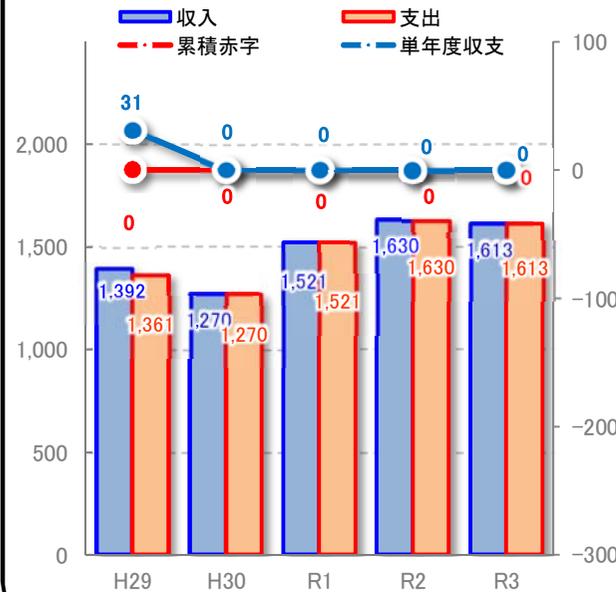
## 収支の状況（令和3年度決算）

（単位：百万円）



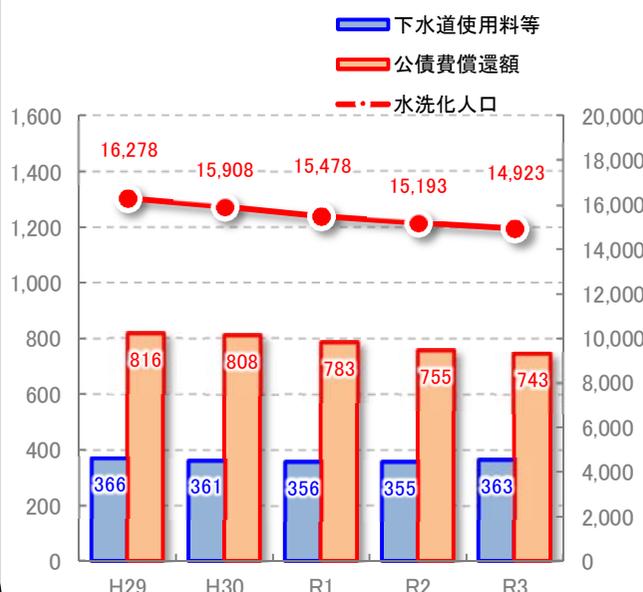
単年度収支と累積赤字の推移

（単位：百万円）



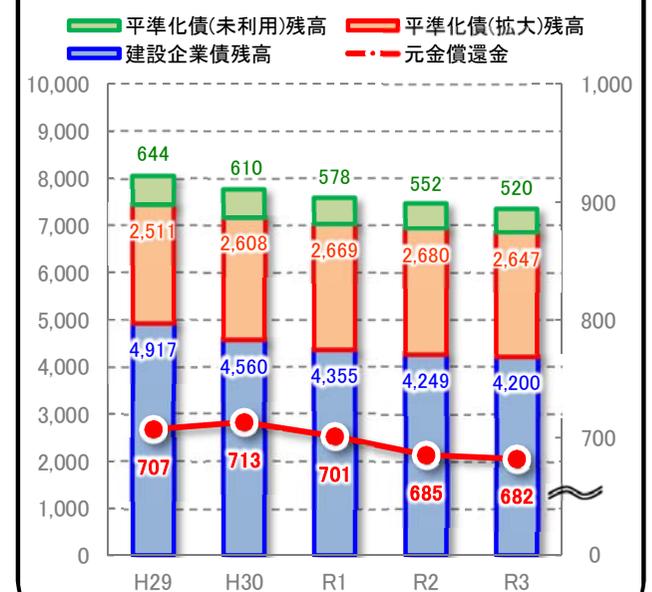
水洗化人口・公債費償還額・下水道使用料等の推移

（単位：百万円）



下水道整備に要した企業債の推移

（単位：百万円）



## 令和4年度執行状況（9月30日現在）

### 歳入

- ①受益者負担金 見込みより一括納付（通常は5年分割）が多く、ほぼ納期とおりの収入となっております。
- ②下水道使用料等 前年度とほぼ同じ収入率で推移しています。
- ③国庫支出金 国からの補助金で、既収入は工事前払い金に係るものです。その他は年度末の収入となります。
- ④繰入金 市から下水道事業への繰出し（負担）で、年度末の収入となります。
- ⑤市債 下水道整備のための借金で、年度末の収入となります。
- ⑥その他 移設補償金で、工事完了後の収入となります。

（単位：千円、％）

予算科目	令和4年度収入状況		
	予算額	収入済額	収入率
①受益者負担金	23,993	28,084	117.1
②下水道使用料等	356,704	144,996	40.6
③国庫支出金	233,000	0	0.0
④繰入金	440,196	0	0.0
⑤市債	501,200	0	0.0
⑥その他	10,001	0	0.0
合計	1,565,094	173,080	11.1

### 歳出

- ①下水道管理費 一般管理費、管渠維持費、浄化センター費などの維持管理費用は例年並みに推移しています。
- ②下水道建設費 下水道施設の改修（耐震化）工事や雨水・汚水管の設計委託、布設工事に係るもので、年末から年度末にかけて工事等が完了する予定でその後の支払いになります。
- ③④公債費 市債（借金）の返済は、9月及び3月払いのため予定通りの執行となっています。

（単位：千円、％）

予算科目	令和4年度支出状況		
	予算額	支出済額	執行率
①下水道管理費	228,090	83,074	36.4
②下水道建設費	605,726	86,872	14.3
③公債費（元金）	677,690	337,708	49.8
④公債費（利子）	50,588	27,093	53.6
⑤その他	3,000	0	0.0
合計	1,565,094	534,747	34.2

※9月末時点で収入済額に対して支出済額が上回っていますが、国庫支出金・繰入金・市債の収入が年度末となるためであり、不足分については会計間の一時借入によって補っています。